

3月予算特別委員会 主な質問

①長期財政の見通しについて

市では本年2月に長期財政の見通しを見直したが、今後実施する中学校給食や総合文化施設の建設など、市民負担が大きく膨らむ事はないのか、と質問。

それに対して、平成34年までの実質収支については黒字となるよう収支の見通しをしているとの市の答弁でしたが、総合文化施設の償還期間を長期に見直した事や、景気の動向も変化して市税収入も将来的に安定するものではない事、等を指摘。市民の大事な税金を預かる立場として、財政の良い時も徹して無駄を排し、行政がもっと努力をすべきであると訴えました。

②行政改革における評価について

市では新たな「改革・改善サイクル」として外部評価を予定しているが、その内容について質問。

民間活力活用の業務の評価・検証も外部評価していく予定との答弁でしたが、外部評価の方法は自治体によってもさまざま、事業の計画段階から実施をしている所もあるという事と、それを踏まえ今後もっと大事なことは、内部でどれだけシビアな評価が出来るのか、という点にある事を指摘。

市に於いてもそうした実（じつ）の部分で着実な行政評価ができるよう、強く訴えました。

③高齢者を狙う悪質犯罪対策について

消費生活センターで年々増加している相談内容について質問。

25年度は24年度より13%以上相談が増加し、特に高齢者を狙うものが増加、被害も高額になっているとの事です。高齢者の皆さんが被害に遭わないように、土日祝日の相談窓口のお知らせや玄関口に貼るステッカーをもっと工夫するよう、強く訴えました。

④幼児教育の充実について

国が行っている幼稚園就園奨励費と市が行っている私立幼稚園幼児保育補助金について質問。

公私間の格差はほぼ是正されてきているとの事ですが、今後はどうなっていくのか、国では保育所と幼稚園との格差を撤廃、大きく幼児教育という括りで就学前児童対策を考えていく方向だと聞いているので、市としても更なる幼児教育の充実をするよう、強く求めました。
